

## 【報告】

# 看護実践力育成のための 発展型データベース・シミュレーション教材 「Web 聖隷タウン」の開発 ー第1報ー

兼子 夏奈子<sup>1)</sup> 炭谷 正太郎<sup>1)</sup> 久保田 君枝<sup>1)</sup> 酒井 昌子<sup>1)</sup>  
檜原 理恵<sup>1)</sup> 黒野 智子<sup>1)</sup> 室加 千佳<sup>1)</sup> 三輪 与志子<sup>1)</sup> 加藤 貴子<sup>1)</sup>  
野村 梨奈<sup>1)2)</sup> 伊藤 賢<sup>1)3)</sup> 宮川 大樹<sup>1)3)</sup> 藤本 栄子<sup>1)</sup>

1) 聖隷クリストファー大学 看護学部 2) Rina Nomura Design

3) 静岡大学創造科学技術大学院

## Development of “Web Seirei Town,” an Advanced Database and Simulation Material for the Development of Practical Nursing Skills -1st Report-

Kanako Kaneko<sup>1)</sup>, Shotaro Sumitani<sup>1)</sup>, Kimie Kubota<sup>1)</sup>, Masako Sakai<sup>1)</sup>,  
Rie Kashihara<sup>1)</sup>, Tomoko Kurono<sup>1)</sup>, Chika Muroka<sup>1)</sup>, Yoshiko Miwa<sup>1)</sup>, Takako Kato<sup>1)</sup>,  
Rina Nomura<sup>1)2)</sup>, Ken Ito<sup>1)3)</sup>, Daiki Miyagawa<sup>1)3)</sup>, Eiko Fujimoto<sup>1)</sup>

1) School of Nursing, Seirei Christopher University, 2) Rina Nomura Design

3) Graduate School of Science and Technology, Shizuoka University

## 《抄録》

本稿は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正（2022年4月1日施行）に伴う、本学看護学部のカリキュラム改革推進の一環として、2021年度より検討が開始された看護実践力育成のための発展型データベース・シミュレーション教材「Web 聖隷タウン」の開発に関する第一報である。本学シミュレーション教育委員会は、「Web 聖隷タウン」の実用に向けた開発として、（1）地域の中の看護視点を育てるためのプロットの開発、（2）Web 聖隷タウン制作の技術的課題解決に向けた実用可能な制作環境の試用および検討を行っている。本稿では、「Web 聖隷タウン」の開発経緯と開発推進のための資源確保について、本教材の持つ機能、これまでの活動経過および今後の課題について報告する。

## 《キーワード》

シミュレーション教材、看護実践力、発展型データベース、教材開発

## I. はじめに

本学看護学部（以下、本学部と称す）のシミュレーション教育委員会（以下、本委員会と称す）の役割には、各看護専門領域のシミュレーション教育実践を支援するために、各々の用途に合わせたシミュレーション教育に関する環境整備や教育ツールの開発などの支援を担うという役割がある（炭谷ら，2021；兼子ら，2022）。

本稿で取り上げる看護実践力育成のための発展型データベース・シミュレーション教材「Web 聖隷タウン」の開発に本委員会が着手した背景には、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正（2022年4月1日施行，厚生労働省，2019）に伴う、本学部のカリキュラム改革推進の一環があげられる。その検討は、2021年度より本委員会とカリキュラム改革委員会から成る構成員により開始された。

「Web 聖隷タウン」開発の目的は、各看護専門領域における看護実践力育成と教材を活用したシミュレーション学修を通じ、学生が主体的に学ぶことができる仮想コミュニティ上に構築・展開された学修教材を確立することである。また、この教材の開発の観点は2つあり、1つ目は、乳幼児期から老年期までのそれぞれのライフステージにある様々な人について、成長・発達の視点、あるいは妊娠・出産・子育て、病気の発症や死期を迎えるといったライフイベントが、看護の対象者・家族に与える影響の視点等を捉えて理解するための看護学修教材の必要性である。2つ目は、様々な状況にある人を、病院を含む地域の中で暮らし続ける生活者として捉えて、看護する能力を育むための看護学修教材の必要性である。さらに、この教材では、学生が、Web上の仮想の町に暮らす人たちの暮らしを支える社会保障システム全体を俯瞰的に眺めることができ、制度・法規を含めた社会保障システム同士の繋がりについても可視化された環

境の中で学修を進められるように構築・展開される。

本委員会が開発を開始した仮想コミュニティ上に構築・展開された看護基礎教育のための学修教材については、他の看護系大学で「シミュレーション教育の効果を高めるための補助教材(仮想都市ミッションタウン)」(片野，山田，藤野他，2020)が1件あるものの、他に類似した教材開発に関する報告はない。

本稿では、「Web 聖隷タウン」の開発経緯、開発推進のための資源確保、教材の持つ機能、これまでの活動経過および今後の課題等について報告する。

## II. 開発経緯

「Web 聖隷タウン」開発を始めた経緯として、次の3点について説明する。

### 1) 2022年の指定規則一部改正に伴う本学部のカリキュラム改革

2022年の指定規則改正は「看護基礎教育検討報告書」(厚生労働省，2018)を受けて策定された。看護基礎教育検討報告書の文頭では、少子高齢化が一層進む中、人口および疾病構造の変化により、医療提供体制に合わせた看護職者の養成が必要であること、看護職員の就業場所が多様となり、対象の多様性・複雑性に対応した看護を創造する能力が求められることが述べられている(厚生労働省，2018)。従来、病気や障害のための治療や療養場所は病院中心であったが、近年の医療改革によって、療養する人々の生活の場は多様化しており、これまで以上に、在宅や外来での看護が重要視される時代となった(厚生労働省，2018)。また、国民の医療に対する意識が高まるとともに一人一人のニーズの多様化(文部科学省，2019)や、多様な生活スタイルや文化など個人のQOL(Quality Of Life)に対する考え方も変化している(厚生労働省，2018)。そのため看護者には、看護

の対象者が、どのような療養場にあっても、地域に住まう1人の生活者として捉えながら看護する能力が求められている（厚生労働省，2018）。しかし、新卒看護師の多くが就職先として病院を選択している状況（厚生労働省，2014；厚生労働省，2020；日本看護協会，2022）があり、本学部学生の傾向もその例外ではない。

以上より、「Web 聖隷タウン」は、指定規則改正と本学部のカリキュラム改革の内容を鑑みた上で、看護の対象者である様々な人を「地域に住まう人」として焦点をあて、学生が看護を考えられる力を育むための教材を目指して、開発が始められた。

## 2) 学生のアクティブ・ラーニング促進および看護専門領域間の教授内容共有の必要性

本学部の2022年度カリキュラム改革の特色のひとつは、2ブロック制の導入である。2ブロック制について檜原ら（2022）は「地域在宅看護学領域、成人看護学領域、老年看護学領域を【治療療養支援看護群】、母性看護学領域、小児看護学領域、精神看護学領域を【発達支援看護群】と位置付けた。各群では領域を超えた講義・演習を構成することによって、多様化、複雑化している対象に対する看護実践について学生が知識を獲得でき、実習に必要な看護実践力の基礎を獲得することを狙いとしている。」と述べている。2ブロック制を推進するにあたり、学生のアクティブ・ラーニングの促進はもとより、人間の誕生から死に至る人生の連続性、発達段階を視点とした連続性、疾病予防、疾病の治療および回復過程の連続性等、多種多様な連続性を捉えた対象理解が促進するような教育を提供するためには、各看護群間で教授内容を共有・整理する必要がある。また、学生が各看護専門領域での学修を進めるにあたり、必要な基礎看護学領域での学修内容や他の専門領域での学修内容を想起し、領域間の関連性を今の学修に繋げて考えられるように、教員

による指導が望まれる。そのためには、教員も他領域での教授内容を理解した上で、学生にはこれまでの学びを想起させ、看護専門領域間の関連性やライフスパンとしての人生の連続性をよりイメージできるような学修教材の開発を図りながら教授活動を行っていく必要がある。さらに、学生が、この人生の連続性をイメージしながら学修を進めるためにも、多くの看護専門領域に共通の可視化された事例の教材開発は重要と考える。

## 3) 仮想コミュニティ上を活用し、可視化された教材である必要性

II-1)、2) で述べたように看護は今、地域看護の重要性が高まっている。元来、看護は、人の誕生から死に至るまでの一生涯にわたり、療養場所に関係せず切れ目なくかわり続ける仕事である。この実践には、様々な成長・発達段階やライフイベントにある看護の対象者や家族が抱える課題や背景を捉えながら、理解していく必要がある。

しかし、近年の看護を学ぶ学生の特徴として、学生の多くは核家族の中で育っており、小児期や老年期にある家族との生活経験もなく、当然、人間の誕生や死を身近に経験した者も少ない（杉森ら，2017；片野ら，2020）。しかも、学生の多くは青年期に該当し（杉森，舟島，2017）、特に周産期から老年期に至るプロセスを実体験したことがないことや、実際とは異なる対象へのイメージ（嶺岸ら，2000；伊藤ら，2010；廣川ら，2018；菊池ら，2021）などによって、学生が自分以外の対象について実像をイメージすることが難しい。一方、学生は、講義の中で、療養を支える社会保障制度などの関係法規や社会資源を学び、そのような制度や資源が実際の対象者と家族の生活にどのように繋がっているのか、あるいは療養場所の移行について実習の体験から学ぶことがある。しかし、学生によっては、その体験から必ずしも学びを十分得られるとは限らない。

このような状況から、「Web 聖隷タウン」は、あらゆる健康状態にある対象者や家族など、その『人の暮らし』についての理解、並びに暮らしを支える社会保障システム全体やシステム同士の繋がり等を俯瞰して眺めることができる環境の中で、学生が繰り返し何度でも学修できることを目指し、開発が始まった。

また、「Web 聖隷タウン」の開発検討が開始されたのは、本学部が学生のパソコン必携化へ移行した時期とも重なり、かつ新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いオンライン授業等の必要性が急速に高まった時期でもあった。そのため、検討の初期段階より、開発を行う教材は Web サイト上のポータルサイトに設定することが決定していた。

### Ⅲ. 開発推進のための資源確保

本委員会では、本学部のシミュレーション教育環境の整備や「Web 聖隷タウン」の開発推進のために、以下の学内外の競争資金を獲得し、必要機材や専門的知識を有する人材確保を行った。

#### 1) 2021 年度および 2022 年度聖隷クリストファー大学教育改革推進経費

「Web 聖隷タウン」の開発と活用をテーマにした予算申請が認められ、主として開発に必要な補助要員の確保と雇用費、デザイン制作費、ブラウザ（ブラウザ：Web サイトを閲覧するために使うソフト）の検証費、教員研修費、仮想電子カルテ（Medi-eye）の導入経費等に充てられた。

補助要員については、現在までに 3 名を採用している。

- ①システム工学を専門とするテクニシャン（Simulation technology Specialist）：1 名
- ②産業デザインの実務経験のあるデザイナー：1 名
- ③教材を Web サイト上に構築・管理を担うオペレーター：1 名

#### 2) 令和 3 年度文部科学省補正予算：ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業

先に、令和 3 年度文部科学省補正予算事業について説明する。本事業は 4 つの区分から構成され、「1. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止」、「2. 『ウィズコロナ』下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え」、「3. 未来社会を切り拓く『新しい資本主義』の起動」、「4. 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保」であった。「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」は、「3. 未来社会を切り拓く『新しい資本主義』の起動」のうちの“安全と成長を呼ぶ「人」への投資の強化”のための支援事業の一つであった。

本事業について文部科学省（2021）は、「医療系学部を有する国公私立大学の中で、遠隔医療に関する教育内容の充実を検討している大学、コロナ禍における実習を実質的なものにするための DX を活用した優れた教育内容の充実を検討している大学に対し、今年度中に教育・実習体制を整備する際に必要となる機材等を支援する」ものとしていた。本学は、当該の支援事業の公募に事業計画を提出した結果、事業対象校として採択され、2022 年 3 月に 940 万円の補助金による遠隔授業や実習および「Web 聖隷タウン」への活用に資する次のようなシミュレーション教育設備が導入されるに至った。

- ① 1504 教室（シミュレーションルーム）と基礎看護実習室および成人看護実習室における複数教室での安定した同時遠隔対応のための音響システム、AV 機器の整備
- ② 演習室への大型モニター設置
- ③ 可動式の大型電子黒板



## IV. Web 聖隷タウンの機能

現在の「Web 聖隷タウン」の主たる機能としては、「シミュレーション教育教材」と「発展型データベース」がある。それぞれの機能について以下に示す。

### 1) シミュレーション教育教材

この教材は、学生が、仮想コミュニティに暮らす様々な看護の対象者の全体像を理解しながら、看護を考えるために、対象自身やその人に係わる人たち、地域や制度について、学生が必要な情報を探索的に、かつ可視化しながら把握することができるという特徴がある。

### 2) 発展型データベース

Web 上の仮想の町「Web 聖隷タウン」には、演習や実習のための準備に資する様々な情報を掲載することができる。例えば、本学部の自校教育として2022年度新カリキュラムから開始された聖隷看護基盤実習では、学生は本学近隣の聖隷ゆかりの福祉施設を中心に13施設のうちのいずれかの施設で実習を行う。各実習施設において、学生が代表者から説明された施設概要などの内容は、学生がGoogleサイト<sup>®</sup>（ホームページ作成ツール、Google、米国）に取りまとめ、実習成果報告会で活用することができる。また、このサイトはアーカイブとして「Web 聖隷タウン」に収載され、次年度の学生の実習準備に受け継がれ、実習施設の情報が毎年発展的に更新される予定である。このように、発展型データベースというのは、教職員や学生達が共に作りながら発展させていくのが特徴である。

また、シミュレーション教育に関する教材は、看護専門領域や学年を隔てることなく一元化することが可能となり、教員は領域間での教授内容や学修進度を把握しやすくなる。これにより、教員は教授活動の際、より意図的に、学生が他の看護専門領域で学んだ知識を想起し、考えることができるように関わる

ことが可能となる。さらに、学生にとっては、教材の公開範囲などの制約にもよるが、学年あるいは領域を隔てることなく、共通の対象者を通じて成長・発達段階や様々なライフイベントによる課題・背景を捉え、それらに基づいた看護の支援方法について、学生が主体的かつ段階的に学ぶことが期待できる。

## V. 開発推進のための活動経過

### 2021 年度

#### 【Web 聖隷タウン】

兼子ら（2022）の「聖隷クリストファー大学看護学部2021年度シミュレーション教育委員会の活動報告」にあるように、「Web 聖隷タウン」の開発について、本委員会とカリキュラム改革委員会によって構成されたWeb 聖隷タウンワーキングメンバーは、4月より定期的な検討を重ね、主に、デザイナーの支援を受けて、Google サイト<sup>®</sup>を用いた「Web 聖隷タウン」の「プロトタイプ1.」の作成・施行・修正を実施した。

#### 【開発推進のための教員研修】

##### 1) 「アイデアワークショップ」(11月)

この企画は、本委員会とカリキュラム改革委員会の合同企画によって開催された。研修には26名の看護学部教員が参加し、2022年度のカリキュラム改正を踏まえ、学生のシミュレーション学修による学修効果の向上のための教育方法や教材について「Web 聖隷タウン」の試作を基に、ブレインストーミングの手法を用いてアイデア出しを行った（兼子、炭谷、久保田他、2022）。

##### 2) 「デザイン思考を看護基礎教育に活用してみませんか」(2022年3月)

この研修は、「Web 聖隷タウン」開発へのアイデアの可視化・具体化を目指して開催されたもので、静岡文化芸術大学デザイン学部・デザイン研究科の教授を講師に招き、課題発見・解決手法の一つであるデザイン思考につ

いて学ぶとともに、「Web 聖隷タウン」へのアイデアの可視化・具体化するワークショップを行った。参加者数は教員 30 名であった。

2022 年度  
【Web 聖隷タウン】

5 月末より、本委員会は、委員および補助要員のデザイナー（準職員）を中心に、前年




時期	活動内容	作成過程を示すイメージの一部
2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助要員の採用開始</li> <li>テクニシャン採用</li> </ul>	
2021 年度	<p>デザイナー採用</p> <p>「プロトタイプ 1.」の作成・施行・修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブラウザに Google サイトを用いて、デザイナーの支援を受けて Web 聖隷タウン試作製作。</li> </ul> <p>Web 聖隷タウンワーキングメンバーおよび本委員会構成員から得られた試作への意見を基に、修正を順次実施。</p> <p>研修① 「アイデアワークショップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アイデアワークショップ」で得られた Web 聖隷タウンへのアイデアの分類・整理。</li> </ul> <p>研修② 「デザイン思考を看護基礎教育に活用してみませんか」</p>	  
4 月		
5 月		
6 月		
7 月		
8 月		
9 月		
10 月		
11 月		
12 月		
1 月		
2 月		
3 月		

図 1. 2021 年度 Web 聖隷タウン開発に係わるシミュレーション教育委員会の活動経過

度11月の「アイデアワークショップ」で出されたアイデアについて再分析し、「Web 聖隷タウン」の「プロトタイプ2.」の制作に向けた作業の優先順位の明確化を行った。その結果、学生が「看護事例」に係わる情報を探索的に閲覧できるプロトタイプの作成が必要であることが明らかとなった。

9月末までに「プロトタイプ2.」には、以前のプロトタイプで制作した事例（聖隷花子さん）に加え、新たに基礎看護学領域の事例（聖隷伝助さん）と在宅看護学領域の事例（佐藤和夫さん）をシミュレーション教材としてWeb上に作成した。

また、「Web 聖隷タウン」の「プロトタイプ2.」の構築に用いるブラウザは、Google サイト<sup>®</sup>からAdobeXD（ベクターベースのプロトタイプ作成ツール、アドビ社製、米国）へ変更した。これにより、制作に伴う自由度が高くなり、簡易的にサイト内での動きをもつプロトタイプの内製が可能となった。さらに、サイト上の動作性としては、「Web 聖隷タウン」の導入ページから他のページへの展開がスムーズになった。その他に、Web 聖隷タウンマップから各々の事例専用ページや事例に係わる関連情報が散りばめられた専用マップページへと次々と移動することが可能となった。これらの結果、学生による事例の全体像を把握するための探索は容易となった。

発展型データベースとしての実装としては、2022年度は前述の聖隷看護基盤実習での実習成果報告会で活用した。この報告会では、聖隷看護基盤実習の実習施設ごとの実習成果報告用のサイトをGoogle サイト<sup>®</sup>で作成し、運用した。また、このサイトでは、当該科目の履修生や教員が、全ての実習成果報告を閲覧することが可能であった。サイトの活用により、学生は他の実習施設の概要や他施設で実習した学生の学びを共有することができた。

## 2022年度後期～2023年度に向けて

### 【Web 聖隷タウン】

シミュレーション教材としての開発推進に向けた今後の課題としては、現在のプロトタイプを実際の授業で活用するための改良であり、(1) 既存事例の編集、(2) 多領域で教材化しやすい共通事例の追加、(3) 「Web 聖隷タウン」のサイトデザインの改良、(4) プロトタイプのテスト試用と評価の4点がある。

発展型データベースとしての今後の開発課題は2つあり、(1) 聖隷看護基盤実習での学生の成果物報告用サイト内のアーカイブ情報としての整理、(2) 聖隷看護基盤実習に係わるアーカイブ資料の掲載である。

「Web 聖隷タウン」制作の技術的な課題としては、Adobe XDはプロトタイプのためのソフトであるため、実用可能な制作環境の検討と決定が必要である。そのために、現在、オペレーターが「プロトタイプ2.」のデータをHTMLで書き出し、再編集を行っている最中である。また、書き出したデータを基に、2022年度は「Web 聖隷タウン」のサイト作成を本学が保有するシステムの一部を使用して行う方向である。一方、本学のシステムでのサイト構築が困難な場合には、専門業者への外注などが必要となると考える。

## VI. まとめ

新井(2019)は「看護教育や教師教育が、『現場で体験する』ことを過度に重視することは適切ではなく、予測不能な将来の諸問題に対処できる専門職を育てるためには『虚構』の中で多角的にものごとを見つめることが大切となります。」と述べている。「Web 聖隷タウン」は、学生が、仮想コミュニティに展開された多様な人たちを通じて、様々な成長・発達段階やライフイベントにある看護の対象者や家族と、その生活を継続する中で抱える課題や背景を理解していくための学修教材である。



時期	活動内容	作成過程を示すイメージの一部
2022年度		
4月	オペレーター採用	<p>WSのアイデアの再分析</p> <p>●昨年のWS資料を見直し、現状で出来る範囲のプロトタイプを作成するためのラベルワークを行った。 目的：制作のための優先順位を決める為</p> <p>●まずは実際に「事例」を閲覧できるプロトタイプの作成が必須である</p> <p>1. 聖隷看護基礎実習でのプロトタイプ活用</p> <p>URL: <a href="https://www.google.com/search?q=2022年度版としてWEB聖隷タウンを再構築【GoogleSite版】">https://www.google.com/search?q=2022年度版としてWEB聖隷タウンを再構築【GoogleSite版】</a></p> <p>●サイト構成</p> <p>●聖隷看護基礎実習のデータベース実装</p> <p>次年度へのアーカイブとしてWEB聖隷タウン内へ導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各施設ごとにGoogleサイトの警告サイトを作成(13施設分/計30サイト)</li> <li>実習成果報告発表会を開催(8/9(水)16:35-17:55)</li> <li>感染対策としてZoom開催であったが、同時に各施設関係者への発表も行われ良いフィードバックの機会となった。</li> </ul> <p>●Google サイトで対応したサイトは 弊の中の人へのみ閲覧可能な場合、 閲覧者がアクセスした際に警告が表示 することの出来ない仕様であった</p>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「プロトタイプ2.」制作に向けた優先順位を決定するために、テクニカルサポートの専門家を中心に、前年度11月の「アイデアワークショップ」で出されたアイデアについての再分析。</li> </ul>	
6月	「プロトタイプ2.」の作成・施行	<p>サイトの構成(ブラッシュアップ後)</p> <p>9月実施</p> <p>1 導入ページ</p> <p>2 TOP MAP</p> <p>3 対象者の詳細情報</p> <p>●個人情報の閲覧ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧/閲覧/住所/家族の有無等</li> <li>アセスメントシート</li> <li>紹介状/データ管理/他に参照する(参考:NECメタワーク)</li> </ul> <p>4 対象者専用のマップ</p> <p>●個別(7月実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名称</li> <li>施設の名称</li> <li>地域福祉支援センター</li> <li>保健所</li> <li>聖隷病院</li> <li>保健所</li> <li>ケアセンター</li> <li>老人ホーム</li> <li>福祉の館</li> <li>スーパーマーケット(交通圏内の例)</li> </ul> <p>●フィードバックアイデア</p> <p>◎対象者の住所に合った関係施設を、「住所専用マップ」に入れる 例: せせ 病院から自宅へ戻るまでの。 「介護老人保健施設(特別介護老人ホーム)等の介護施設」など</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Adobe XDを導入し、デザイナーの支援を受けながらGoogleサイトに構築したWeb聖隷タウンの再構築を開始。</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聖隷伝助さん」の事例構築を、基礎看護学領域の教員とデザイナーを中心に作成。</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「佐藤和夫さん」の事例構築を、地域・在宅領域の教員とデザイナーが中心となり作成中。</li> </ul>	
10月		

図1. 2021年度 Web聖隷タウン開発に係わるシミュレーション教育委員会の活動経過



学生は、従来の講義・演習・実習での学修に加えて、この仮想コミュニティに可視化された学修教材を活用した学修を行うことにより、対象者や対象者を取り巻く多様な繋がりについて、理解できるまで繰り返し学修することができる。これにより、学生は看護の対象を多角的に捉え、理解を深めていくことができる可能性がある。以上のことから、本委員会は、今後も、「Web 聖隷タウン」の改良と実装にむけた準備を進めていく予定である。

## 文献

新井英靖 (2019):看護教育に生かすアクティブ・ラーニング 授業づくりの基本と実践 第1版, p.38, メヂカルフレンド社, 東京.  
伊藤豊美, 住垣千恵子, 後藤友美他 (2010): 老年看護学実習における看護学生の高齢者に対するイメージの変化, 国立看護大学校研究紀要, 9 (1), 37-42.  
檜原理恵, 本田彰子, 大石ふみ子他 (2022): 2022年指定規則一部改正に伴うカリキュラム改革について, 聖隷クリストファー大学看護学部紀要, 30, 9-16.  
片野光男, 山田小織, 藤野ユリ子他 (2020): 福岡女学院看護大学が開発した「第四の看護教材」ミッションタウンへようこそ (片野光男編), pp.5-12, クオリティケア, 東京.  
兼子夏奈子, 炭谷正太郎, 久保田君枝他 (2022): 聖隷クリストファー大学看護学部2021年度シミュレーション教育委員会の活動報告, 聖隷クリストファー大学看護学部紀要, 30, 17-26.  
菊池真弓, 若澤弥生 (2021): 臨地実習における看護学生の「生活者」の理解に関する文献検討, 了徳寺大学研究紀要, 16, 285-296.  
厚生労働省 (2018): 看護基礎教育検討会報告書, <https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000557411.pdf>, (検索日: 2022年11月20日).

厚生労働省 (2019): 保健師助産師看護師法施行規則の一部を改正する省令, 厚生労働省令第179号. <https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/tuuti915-2.pdf>, (検索日: 2022年11月20日).  
厚生労働省 (2020): 令和2年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況 就業保健師・助産師・看護師・准看護師, <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/20/dl/kekka1.pdf>, (検索日: 2022年12月17日).  
厚生労働省 (2014): 看護職員の現状と推移 第1回看護職員需給見通しに関する検討会資料3-1 (平成26年12月1日), <https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000072895.pdf>, (検索日: 2022年12月17日).  
杉森みど里, 舟島なをみ (2017): 看護教育学第6版, pp.259-260, 医学書院, 東京.  
炭谷正太郎, 久保田君枝, 小池武嗣他 (2021): 聖隷クリストファー大学看護基礎教育における2020年度シミュレーション教育の実践報告, 聖隷クリストファー大学看護学部紀要, 29, 7-14.  
日本看護協会 医療政策部編 (2022): 2021年看護職員実態調査 (日本看護協会調査研究報告 No.98), <https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/research/98.pdf>, (検索日: 2022年12月17日).  
廣川恵子, 大田直実 (2018): 看護学生のがん, がん患者に対するイメージとその変化—がん看護学講義および実習前後のレポート内容の比較から—, 川崎医療福祉学会誌, 27 (2), 325-336.  
嶺岸秀子, 古屋健 (2000): 精神看護実習が看護学生の精神障害者イメージ, 看護態度, および事例アセスメントに及ぼす影響, 日本看護研究学会雑誌, 23 (4), 59-72.  
文部科学省 (2019): 大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会 第一次報

告 大学における看護系人材養成の充実  
に向けた保健師助産師看護師学校養成所  
指定規則の適用に関する課題と対応策,

[https://www.mext.go.jp/content/20200616-mxt\\_igaku-000003663\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200616-mxt_igaku-000003663_1.pdf), (検索日:2022年  
12月24日).

文部科学省(2021):令和3年度文部科学省  
補正予算事業別資料集, <https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000557411.pdf>, (検索  
日:2022年11月21日).